各位

IRユニバーシティ セミナーのお知らせ

「株主総会総括 アクティビストに勝つIRとガバナンス」

皆様におかれましては、ご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。
下記の通りIRユニバーシティセミナーを開催させていただき運びとなりました。

本年の株主総会の速報ベース総括、アクティビスト対応のIRやガバナンス関連、さらにガバナンス・コードの改訂にともなったガバナンス報告書の見直しなど、実務レベルのお話しをご担当者の皆様へ、弊社のスタッフ総動員でご案内いたします。

また、弊社の海外スタッフが来日し、MiFID II規制(第二次金融商品市場指令)により徐々に影響がでてきております海外IRについて、その対応の実例についてもご案内いたします。

株主総会、IR、ガバナンスをご担当の多くの皆様にご参加いただけましたら幸いです。
下記概要をご確認の上、ご参加を検討くださいますようお願いいたします。

■ 開催概要

日 時 : 2018年7月24日(火)
 セミナー: 13時45分~17時 (受付は13時30分より開始いたします)
 懇親会 : 17時15分~18時30分

会 場 : コンファレンススクエア エムプラス 10階 ミドル1, 2
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル
 TEL:03-3282-7777

定 員 : 50名

参加費用(資料代等): 1名2,000円(消費税込)
*参加費用は、事前にお振込みをお願いいたします。

■ お申込み方法

お申込み: メールにて別添の申込書をお送りください。
折り返し、詳細とご参加費用のお振込みのご案内を致します。

締め切り: 7月13日(金)まで

問合せ先: ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社
 担当: 原山・川島
 E-mail: ir_university@j-urusir.com TEL:03-6273-4032(代)

■ セミナー内容

	内容	講師
13:45 - 14:00	はじめに - 本日のセミナーの趣旨 - 今年の総会シーズンを終えて、見えてきた今後の課題	岩田 宜子
14:00 - 14:30	総会総括 - 2018年6月総会シーズンの速報	鈴木 紀子
14:30 - 15:00	勝つためのアクティビスト対応 アクティビストへの対応においてIR・SRの対応は極めて重要ではあるが、IR・SRだけでは解決できない領域も存在する。自己資本比率、ROE、配当性向、社外取締役構成など、IR担当者が経営トップに伝えるべき資本市場の要望について、実例を交えて整理	宮地 真紀子
15:00 - 15:45	今後のIR・SRに期待されること ～経営とともに考える～ IRやSR活動に経営の関わりは欠かせないものになった。今後、経営として、また担当者としてIR・SR活動を考え、進めるにあたり、資本市場が何を期待しているのか、実際の投資家の声も交えながら紹介	大湖 恵美 原山 真紀
15:45 - 16:00	休憩(15分)	
16:00 - 16:30	欧州英国からみた MiFID II におけるIRとSR グローバル市場において、日本株式運用への関心が低下するなか、定期的かつ的を射た海外IRがますます重要となっている。海外機関投資家と日々対話をしているロンドンスタッフから、最近の状況と今後の海外IR・SR活動をご案内	Tara Raeside
16:30 - 17:00	改訂ガバナンス・コードと取締役会評価 ガバナンス・コードが改訂され、取締役会の監督機能の強化が一層求められている。改訂コードの趣旨、背景にある考え方、そして、それらを反映した取締役会評価とその進め方について、有識者会議での議論や数多くの評価の実務経験を踏まえて、解説	高山与志子
17:15～	懇親会	

懇親会では、軽食をご用意しております。ご参加の皆様でのご歓談・情報交換の場としていただければ幸いです。セミナーを通して疑問が残られた点などご質問いただくお時間としても、ご活用いただければと存じます。

講師:

岩田 宜子 (いわた よしこ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役

米系銀行勤務後1992年よりIR業界でのキャリアを開始、1994年米国IRコンサルティング会社日本代表、その後、日系初のグローバル・IRコンサルティング会社、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)を設立し、2001年代表取締役に就任。東証上場会社表彰選定委員や経産省対内直接投資研究会委員を経験。日本IR学会理事。IRとガバナンスの分野で博士号(経済)を取得。

**高山 与志子 (たかやま よしこ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マネージング・ディレクター 取締役
ボードルーム・レビュー・ジャパン株式会社 代表取締役**

1987年、メリルリンチ証券会社ニューヨーク本社投資銀行部門に入社。ニューヨーク、ロンドン、東京にて、日本企業の国内外での資金調達、M&Aなどに関するアドバイスをを行う。トムソン・ファイナンシャル・インベスター・リレーションズを経て、2001年から、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)にて、IR活動のコンサルティング、ならびにコーポレート・ガバナンスに関するコンサルティングを行う。2015年、ボードルーム・レビュー・ジャパン株式会社の代表取締役に就任、数多くの日本企業の取締役会評価を支援。金融庁・東京証券取引所「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」メンバー(現任)。

鈴木 紀子 (すずき のりこ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 シニア・マネージャー

津田塾大学学芸各部国際関係学科卒業。2002年よりジェイ・ユーラス・アイアールにて機関投資家データベース構築プロジェクトに従事し、国内・海外株主判明調査や機関投資家へのヒアリングなどの調査・分析に携る。議決権行使促進、プロクシーファイト等、有事下の株主総会支援やTOB支援等を行うほか、海外企業の日本におけるIR、日本企業の海外IRにおける支援業務等にも携わり、顧客から高い評価を得ている。

宮地 真紀子 (みやじ まきこ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 シニア・マネージャー

東京大学経済学部経済学科卒業、日系総合電機メーカー入社。米国におけるIR・SEC対応、上場子会社において連結決算・事業計画等を担当などの業務に通ずる。2005年2月当社入社、国内・海外株主判明調査などのサービスや、機関投資家の意識調査を企画・運営するなど、日本企業のIRの現状と内外機関投資家による認識ギャップを主軸としたコンサルティングを展開。大型企業合併・買収防衛策導入・企業防衛等に関わる。2014年より、取締役会評価担当。

大湖 恵美 (おおご めぐみ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マーケティング担当マネージャー

立教大学経済学部経営学科卒業。日本短波放送(現・日経ラジオ社)にて市況放送、株式情報番組等を担当。ディスクロージャー優良企業選定のサポートや投資家インタビューの経験を活かし、1996年からIRのキャリアを開始。上場直後の企業など、年間を通して顧客に寄り添った密なIR活動支援や提案を行っている。

原山 真紀 (はらやま まき) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マネージャー

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科北川哲雄教授の下にて、専門科目としてIRを学び、経営学修士号を取得。修士号取得前での大手流通業の職務経験を基に、IRとガバナンスに関する提案を企業に行っている。ジェイ・ユーラスニューズレターにおいて、決算説明会に関するレポートを担当し、毎回、企業より好評を得ている。

Tara Raeside (レイサイド タラ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 アソシエイト

2000年ロンドンのトムソン・ファイナンシャル・インベスター・リレーションズに入社。ロンドンにおける日本企業担当のIRコンサルティングのアソシエイトとして日本企業のIR活動を支援した。特に、日本企業に対応したきめの細かい支援に定評があり、IR優良企業の海外IRを担当した。その他、英国・欧州、米国の機関投資家リサーチにおいて力を発揮し、トムソンの機関投資家データベース構築に貢献した。2001年3月退社後、S G Asset Managementに入社。東京オフィスとロンドンオフィスのファンドのコーディネートを担当する。2003年に退社後、米国に移住し、当社入社。海外IRや海外機関投資家調査の任を担う。特に、投資家と企業の認知度ギャップを把握するパーセプションスタディにおいて投資家へのヒアリング力に定評があり、大手企業の経営陣から評価が高い。現在は英国在住。

■ セミナー内容

	内容	講師
13:45 - 14:00	はじめに - 本日のセミナーの趣旨 - 今年の総会シーズンを終えて、見えてきた今後の課題	岩田 宜子
14:00 - 14:30	総会総括 - 2018年6月総会シーズンの速報	鈴木 紀子
14:30 - 15:00	勝つためのアクティビスト対応 アクティビストへの対応においてIR・SRの対応は極めて重要ではあるが、IR・SRだけでは解決できない領域も存在する。自己資本比率、ROE、配当性向、社外取締役構成など、IR担当者が経営トップに伝えるべき資本市場の要望について、実例を交えて整理する	宮地 真紀子
15:00 - 15:45	今後のIR・SRに期待されること ～経営とともに考える～ IRやSR活動に経営の関わりは欠かせないものになった。今後、経営として、また担当者としてIR・SR活動を考え、進めるにあたり、資本市場が何を期待しているのか、実際の投資家の声も交えながら紹介	大湖 恵美 原山 真紀
15:45 - 16:00	休憩(15分)	
16:00 - 16:30	欧州英国からみた MiFID II におけるIRとSR グローバル市場において、日本株式運用への関心が低下するなか、定期的かつ的を射た海外IRがますます重要となっている。海外機関投資家と日々対話をしているロンドンスタッフから、最近の状況と今後の海外IR・SR活動をご案内する	Tara Raeside
16:30 - 17:00	改訂バナンス・コードと取締役会評価 ガバナンス・コードが改訂され、取締役会の監督機能の強化が一層求められている。改訂コードの趣旨、背景にある考え方、そして、それらを反映した取締役会評価とその進め方について、有識者会議での議論や数多くの評価の実務経験を踏まえて、解説	高山与志子
17:15～	懇親会	

懇親会では、軽食をご用意しております。ご参加の皆様でのご歓談・情報交換の場としていただければ幸いです。セミナーを通して疑問が残られた点などご質問いただくお時間としても、ご活用いただければと存じます。

講師:

岩田 宜子 (いわた よしこ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 代表取締役

米系銀行勤務後1992年よりIR業界でのキャリアを開始、1994年米国IRコンサルティング会社日本代表、その後、日系初のグローバル・IRコンサルティング会社、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)を設立し、2001年代表取締役に就任。東証上場会社表彰選定委員や経産省対内直接投資研究会委員を経験。日本IR学会理事。IRとガバナンスの分野で博士号(経済)を取得。

**高山 与志子 (たかやま よしこ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マネージング・ディレクター 取締役
ボードルーム・レビュー・ジャパン株式会社 代表取締役**

1987年、メリルリンチ証券会社ニューヨーク本社投資銀行部門に入社。ニューヨーク、ロンドン、東京にて、日本企業の国内外での資金調達、M&Aなどに関するアドバイスをを行う。トムソン・ファイナンシャル・インベスター・リレーションズを経て、2001年から、ジェイ・ユーラス・アイアール(株)にて、IR活動のコンサルティング、ならびにコーポレート・ガバナンスに関するコンサルティングを行う。2015年、ボードルーム・レビュー・ジャパン株式会社の代表取締役に就任、数多くの日本企業の取締役会評価を支援。金融庁・東京証券取引所「スチュワードシップ・コード及びコーポレートガバナンス・コードのフォローアップ会議」メンバー(現任)。

鈴木 紀子 (すずき のりこ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 シニア・マネージャー

津田塾大学学芸各部国際関係学科卒業。2002年よりジェイ・ユーラス・アイアールにて機関投資家データベース構築プロジェクトに従事し、国内・海外株主判明調査や機関投資家へのヒアリングなどの調査・分析に携る。議決権行使促進、プロクシーファイト等、有事下の株主総会支援やTOB支援等を行うほか、海外企業の日本におけるIR、日本企業の海外IRにおける支援業務等にも携わり、顧客から高い評価を得ている。

宮地 真紀子 (みやじ まきこ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 シニア・マネージャー

東京大学経済学部経済学科卒業、日系総合電機メーカー入社。米国におけるIR・SEC対応、上場子会社において連結決算・事業計画等を担当などの業務に通ずる。2005年2月当社入社、国内・海外株主判明調査などのサービスや、機関投資家の意識調査を企画・運営するなど、日本企業のIRの現状と内外機関投資家による認識ギャップを主軸としたコンサルティングを展開。大型企業合併・買収防衛策導入・企業防衛等に関わる。2014年より、取締役会評価担当。

大湖 恵美 (おおご めぐみ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マーケティング担当マネージャー

立教大学経済学部経営学科卒業。日本短波放送(現・日経ラジオ社)にて市況放送、株式情報番組等を担当。ディスクロージャー優良企業選定のサポートや投資家インタビューの経験を活かし、1996年からIRのキャリアを開始。上場直後の企業など、年間を通して顧客に寄り添った密なIR活動支援や提案を行っている。

原山 真紀 (はらやま まき) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 マネージャー

青山学院大学大学院国際マネジメント研究科北川哲雄教授の下にて、専門科目としてIRを学び、経営学修士号を取得。修士号取得前での大手流通業の職務経験を基に、IRとガバナンスに関する提案を企業に行っている。ジェイ・ユーラスニューズレターにおいて、決算説明会に関するレポートを担当し、毎回、企業より好評を得ている。

Tara Raeside (レイサイド タラ) ジェイ・ユーラス・アイアール株式会社 アソシエイト

2000年ロンドンのトムソン・ファイナンシャル・インベスター・リレーションズに入社。ロンドンにおける日本企業担当のIRコンサルティングのアソシエイトとして日本企業のIR活動を支援した。特に、日本企業に対応したきめの細かい支援に定評があり、IR優良企業の海外IRを担当した。その他、英国・欧州、米国の機関投資家リサーチにおいて力を発揮し、トムソンの機関投資家データベース構築に貢献した。2001年3月退社後、S G Asset Managementに入社。東京オフィスとロンドンオフィスのファンドのコーディネートを担当する。2003年に退社後、米国に移住し、当社入社。海外IRや海外機関投資家調査の任を担う。特に、投資家と企業の認知度ギャップを把握するパーセプションスタディにおいて投資家へのヒアリング力に定評があり、大手企業の経営陣から評価が高い。現在は英国在住。